

## ベナン月例報告（2013年12月）

### 1. 内政

- ・ 2日、パトリス・タロン（M.Patrice TALON）氏が首謀したとされるヤイ大統領毒殺未遂事件及びクーデタ未遂事件に関し、5月17日に同氏をはじめとする被疑者5名全員を証拠不十分として予審免訴（non-lieu）の決定を下したコトヌ第一審裁判所のウス（M.Angelo Djidjoho HOUSSOU）判事が、1日、米国に向けてベナンを出国した。同氏は、米国に対して政治亡命を要求している。
- ・ 4日、パリ控訴院予審部は、ベナン政府が請求していたタロン氏及びボコ（M.Olivier BOKO）氏のベナンへの引渡しにつき、同請求を棄却する旨決定した。
- ・ 17日、ベナン司法官全国同盟（UNAMAB: Union Nationale des Magistrats du Bénin）は、同同盟がかねてより求めていた司法官の安全確保体制の整備、及び2011年及び2013年の人事異動発令の訂正が遅々として実現されない旨政府及び司法官高等評議会に対し訴え、同日より72時間のストライキを敢行した。
- ・ 19日、国民議会は、2014年度予算案を非現実的な予算案であるとして、賛成39票、反対44票で否決した。31日、かかる予算案は、憲法の規定により、大統領令により採択された。

### 2. 外政

- ・ 4日、在ベナン日本国大使館が天皇誕生日記念レセプションを開催し、エドゥ（M.Raphael EDOU）環境相及びアヴァングラ（M.Eusèbe AGBANGLA）外務省次官等多数の政府関係者、外交団が出席した。
- ・ 6日及び7日、ヤイ大統領は、仏エリゼ・サミットに参加するため、仏を訪問した。
- ・ 11日及び12日、トルコを訪問したヤイ大統領は、ギュル（M.Abdullah GUL）トルコ大統領と会談した。両大統領は、投資促進・投資保護協定、保健・医療協力に関する枠組協定、外交旅券保持者に対する査証免除に関する協定、両国外務省間の協議メカニズムの創設に関する覚書等の4協定に調印した。

### 3. 経済

- ・ 2日、アジャボン（M.Sébastien Ajavon）ベナン経団連会長は、ナゴ（M.Mathurin NAGO）国民議会議長を往訪し、現在のベナンにおける経済状況に対する政府の対応について不満を述べた。特に、主観的かつ根拠のない財政立て直し案、公契約における透明性の欠如、政府による企業への支払拒否及び財務省発行の小切手の現金化の困難さ等を批判した。
- ・ 7日、ボルグ（Borgou）県、アリボリ（Alibori）県、アタコラ（Atacora）県及びドンガ（Donga）県の綿花生産者らが、前年度に収穫した綿花に対する支払いが未

払いであるとして、今年度の綿花の売り渡しを拒否する意向である旨発表した。

- ・ 19日、アルジェリアの農産品加工企業 SPA Rouliba の専門家グループがベナンを訪問し、ヤイ大統領と意見交換を行った。

#### 4. 開発・協力

- ・ 11月29日、日本がベナンに対して、約21億5千万 FCFA に上る2013年度対ベナン食糧援助を実施し、塚原駐ベナン日本大使及びバコ（M.Nassirou BAKO-ARIFARI）外相が交換公文に署名した。
- ・ 同日、仏のカンファン（M.Pascal Canfin）開発担当大臣がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。また同大臣及びバコ外相は、インフラ、教育、保健等分野での支援を内容とする仏・ベナン新パートナーシップ枠組文書に署名した。総支援額は、670億 FCFA に上る。
- ・ 2日、米ミレニアム・チャレンジ・コーポレーション（MCC）は、ベナンがミレニアム・チャレンジ・アカウント（MCA）の2014年度候補対象国から除外された旨発表した。16日、MCC アフリカのブルーム（M.Jonathan BLOOM）副理事長は、ヤイ大統領と会談し、「ベナンが汚職に関するスコアで基準値を超えることが肝要」である旨述べた。
- ・ 3日、保健省は、UNICEF ベナン事務所及び国連合同エイズ計画（UNAIDS）とともに、母子間 HIV 感染撲滅（ETME:Elimination de la transmission du VIH de la mere-l'enfant）フォーラムを開催した。ヴァンサン（Mme Anne VINCENT）UNICEF ベナン事務所代表は、ベナンでは、ARV 治療を受けている HIV 感染女性は、2010年には約40%であったのが、2013年には38%に減少している旨説明し、懸念を示した。
- ・ 7日、独がベナンに対し、197億 FCFA の追加的財政支援を実施することが決定し、ニューマン（M.Hans Jorg NEUMANN）駐ベナン・ドイツ大使及びアバングラ・ベナン外務省次官が交換公文に署名した。
- ・ 18日、国連システムとベナン政府は2014年ー2018年の対ベナン国連開発支援計画に署名した。支援総額は、約9億6,700万 FCFA に上る。
- ・ 23日、ヤイ大統領は、ベナンを訪問している西アフリカ開発銀行（BOAD）のアドヴェランデ（M.Christian ADOVERANDE）総裁と会談し、1,060億 FCFA に上る2013年度の同銀行の対ベナン融資について意見交換を行った。1,060億 FCFA の内、700億 FCFA はインフラ整備、310億 FCFA は綿花セクター振興、50億 FCFA は民間セクター振興のために用いられた。また、同総裁及びビアン（M.Jonas GBIAN）財務相は、パラク（Parakou）ージュグ（Djougou）間道路整備のための308億 FCFA の新規融資に調印した。
- ・ 26日、ECOWAS 投資開発銀行が、ポベ（Pobè）、サケテ（Sakété）及びダッサ・

ズメ（Dassa-Zoumé）の衛生改善を目的として、ベナンに対し67億FCFAを融資することを決定し、ビアン財務相とイフォ（M.Bahir IFO）同銀行総裁が署名式を実施した。

## 5. 社会

- ・ 9日、ベナン市民社会団体 Alcrer のアソバ（M.Martin ASSOGBA）代表が、アボメ・カラヴィ（Abomey-Calavi）市の自宅付近で7発の銃弾を受け、病院に搬送された。命に別状はない由。アソバ氏は人権活動家として、政府に対する批判を活発に行っていた。
- ・ 24日、ダントッパ（Dantokpa）市場の一部で火災が発生し、子ども2名が焼死した。
- ・ 27日、デモを実施しようとした労働組合連盟及びかかるデモを制止しようとした治安部隊が衝突し、22名が負傷した。かかるデモは、アソバ氏暗殺未遂事件、縁故採用等の不適切な公務員採用試験、言論の自由への侵害等に抗議して実施される予定であったが、労働組合連盟が事前にコトヌ市のデモ実施許可を得ていたにも拘わらず、デモ実施数時間前にアザンデ（M.Placide AZANDE）アトランティック・リトラル（Atlantique-Littoral）県知事が、治安上問題があるとしてデモ中止を発表したため衝突が発生した由。

## 6. 治安

- ・ 22日、ポルト・ノヴォ（Porte-Novo）付近で走行中のミニバスが炎上し、5名の死亡者が出たほか、複数名が重傷を負った。

(了)